

別冊 2



長崎平和 マラソン

NAGASAKI PEACE MARATHON

2020年11月29日（日）開催

実施計画書【概要版】

はじめに

1945年8月9日、長崎に投下された一発の原子爆弾により、街は壊滅的な被害を受け、多くの尊い人命が奪われました。戦後、長崎市民は、国内外からの多くの支援を受け、美しい故郷を取り戻すために努力を重ねながらこの苦難を乗り越え、長崎の街を見事に復興させるとともに、「長崎を最後の被爆地に」との願いを世界に向けて発信してきました。

そして、被爆から75年の節目を迎える2020年に向け、今、新たなチャレンジに挑みます。それは、長崎市では実現不可能とまでいわれてきた「フルマラソン大会」開催へのチャレンジです。「あきらめずに取り組み続ければ、実現することができる」という、このチャレンジの精神は、世界中の平和を願う人たちが力を合わせて取り組んでいることに通じるものだと考えます。

平和を発信する方法は多様であり、多くの皆さんが様々な方法で平和を表現しています。今回の「長崎平和マラソン」においても、実際に走る競技者として、応援する観客として、大会を準備・運営するスタッフとして、多くの方々が関わりを持ちながら、それぞれの方法で「私も平和のメッセージを発信している」ということを感じ取っていただき、皆さんで「平和の文化」を創造していくことを実感できる大会にしたいと考えています。

～平和だからこそスポーツができる～ 世界初となる「被爆地を走るフルマラソン」の成功を目指し、皆さんで盛り上げていきましょう。

<u>I 大会概要</u>	1	開催要項	1
	2	コース図	5
	3	会場図	8
<u>II 平和の取組</u>	1	平和の発信	9
<u>III 広報計画</u>	1	広報計画	13
<u>IV 募集計画</u>	1	募集計画	15
<u>V 大会運営計画</u>	1	スタート・フィニッシュ地点	16
	2	スタート計画	17
	3	フィニッシュ計画	19
	4	記録計測計画	20
	5	関門・収容計画	20
	6	給水・給食計画	21
	7	ランナー仮設トイレ設置計画	21
	8	救護計画	21
	9	ボランティア計画	22
<u>VI 関連事業計画</u>	1	長崎平和マラソン交流ゾーン (EXPO)	24
<u>VII 交通対策</u>	1	交通対策	25
	2	ランナー輸送計画	26
	3	臨時駐車場 (候補地)	26
<u>VIII スケジュール</u>	1	令和元年度	27
	2	令和2年度	28
<u>IX 大会運営費</u>	1	大会運営費 (概算)	29

1 開催要項

- (1) 名 称 長崎平和マラソン (NAGASAKI PEACE MARATHON)
- (2) 主 催 長崎平和マラソン実行委員会
- (3) 主 管 長崎市陸上競技協会
- (4) 後 援 (一財)長崎陸上競技協会
- (5) 開催日時 2020年(令和2年)11月29日(日)
9:00 フルマラソン スタート
9:30 8.9kmファンラン スタート
9:45 2,020mファンラン スタート
15:00 終了
- (6) 種 目 フルマラソン(42.195km)
ファンラン 2コース(8.9km、2,020m)
- (7) スタート 平和公園市営陸上競技場前(市道松山町線)
- (8) フィニッシュ 同 上
- (9) 制限時間 6時間(フルマラソン)、1時間30分(8.9km)
※2,020mファンランは、制限時間なし
- (10) 参加人数 フルマラソン 10,000人
ファンラン 2,000人(各コース1,000人)
- (11) 競技規則 2020年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による
- (12) コース **【フルマラソン】**
平和公園地区を発着点に平和の尊さと2つの世界遺産をめぐり、歴史のまち長崎を感じながら、鶴の港を堪能でき坂の街長崎を体感できる長崎港周回コース
(日本陸上競技連盟公認コース ※予定)

【ファンラン】

8.9 km・・・チャレンジピースラン8.9

2,020m・・・エンジョイピースラン2020

(13) 表彰

- ①総合男女各1位～8位を表彰する
 ②年代別の男女各1位～6位を表彰する（29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上）

(14) 参加料

種目	参加料（税込）	対象
フルマラソン	11,000円	18歳以上
8.9kmファンラン	2,500円	高校生以上
2,020mファンラン	1,000円	小中学生
〃	2,000円	高校生以上
〃	3,000円	親子(3名以内)

(15) 参加資格

【フルマラソン】

2002年（平成14年）4月1日以前に生まれた者

①登録 2020年度日本陸上競技連盟登録競技者

②一般 日本陸上競技連盟未登録者等

※①・②共に、本大会が推薦する国内・国外の競技者を含み、5時間45分以内に完走できる男女

※障害のある方で単独走行が困難な方は伴走者1名をつけることができる（盲導犬の伴走は不可とする）

※車いすでの参加は不可

【8.9kmファンラン】

高校生以上で1時間30分以内に完走できる男女

※車いすでの参加は不可

【2,020mファンラン】

小学生以上で親子の場合は、保護者と小学生合わせて3名以内

走行補助器具（生活用車いす等）での参加は可能

※伴走者を1名付けることが原則

※競技用車いすでの参加は認めない

- (16) 参加申込
- ①方 法：エントリーサイト又は専用払込用紙
 - ②期 間：2020年(令和2年)3月11日(水)～6月
 - ③参加決定：先着順 ※専用払込用紙については抽選
 - ④部 門：個人エントリー以外に、グループでのエントリーも検討
 - ⑤参 加 枠：ア) 一般枠
イ) 長崎市民・県民優先枠
ウ) ツアー参加者優先枠
エ) 国外参加者優先枠
オ) 寄付申込者枠 ※長崎市平和基金への寄付
- (17) 大会参加賞
・完走賞
- ①フルマラソン
参加賞/Tシャツ 出走者/タオル
完走者/完走メダル、完走記録証
 - ②ファンラン
参加賞/タオル 完走者/完走記録証
- (18) ランナー受付 当日に使用するナンバーカード、計測チップは全てのランナーに事前送付し、ランナーの受付は行わない
- (19) スタート整列 スタートブロック別で整列
※整列は申込時の申告タイムを参考にして実施する
- (20) 大会キャッチ
フレーズ 「Peace from Nagasaki (ピース フロム ナガサキ)」
- 【コンセプト】**
この言葉には、「長崎から平和を」という「発信」と、「長崎が平和なまちになりましょう」という「創造」の2つの意味が込められている。
この“Nagasaki”をランナーや大会を応援する人の住むまちに入れ替えれば、世界のどのまちにも当てはめることができる。
長崎平和マラソンに関わる人全員が、平和を発信・創造する当事者になることを目指し、「Peace from Nagasaki (ピース フロム ナガサキ)」をキャッチフレーズとする。

- (21) 大会ロゴマーク
・ロゴタイプ



長崎平和マラソン

NAGASAKI
PEACE
MARATHON

【コンセプト】

平和の象徴である「ハト」をベースに、「幸せの鳥」と言われる「青い鳥」をイメージさせて、さらにゴールの「リボン（テープ）」をくわえたマークとしてシンボライズ。

明るくカラフルな配色は、スポーツの楽しさと健康を感じさせるデザインとなっている。

- (22) 大会イメージカラー
空色（青）

【コンセプト】

平和な日常が繰り広げられることで、今、私たちは澄み切った「青い空」を見ることが出来る。もし、世界のどこかで争いが起き、戦火による粉塵や核兵器によるきこの雲が立ち上るようなことがあったら、この青い空を望むことはできない。いつまでも「青い空」を見ることが出来るよう、平和な世界が続いてほしいという願いを込めて、大会イメージカラーを「空色」とする。

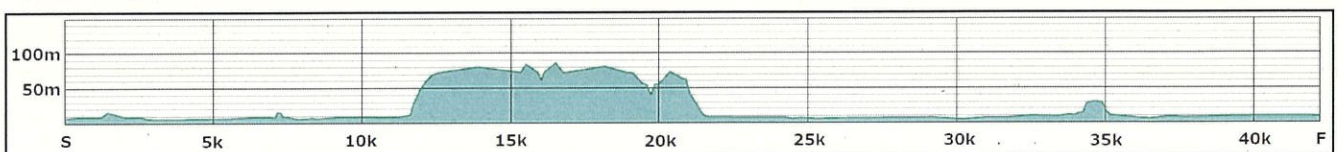
2 コース図

(1) フルマラソン (42.195km)



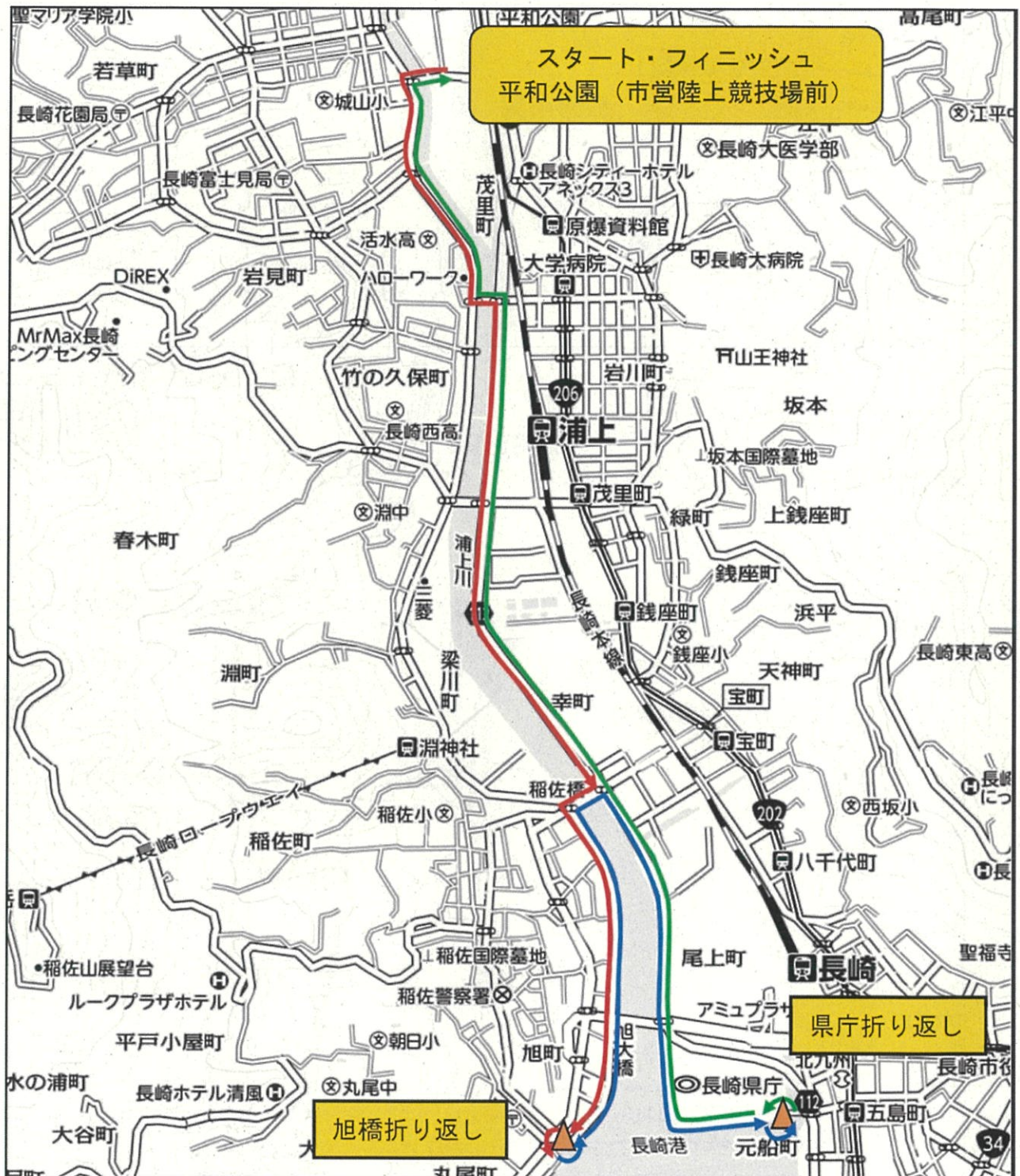
※今後の調整により、一部コースを変更する可能性があります。

【高低図】

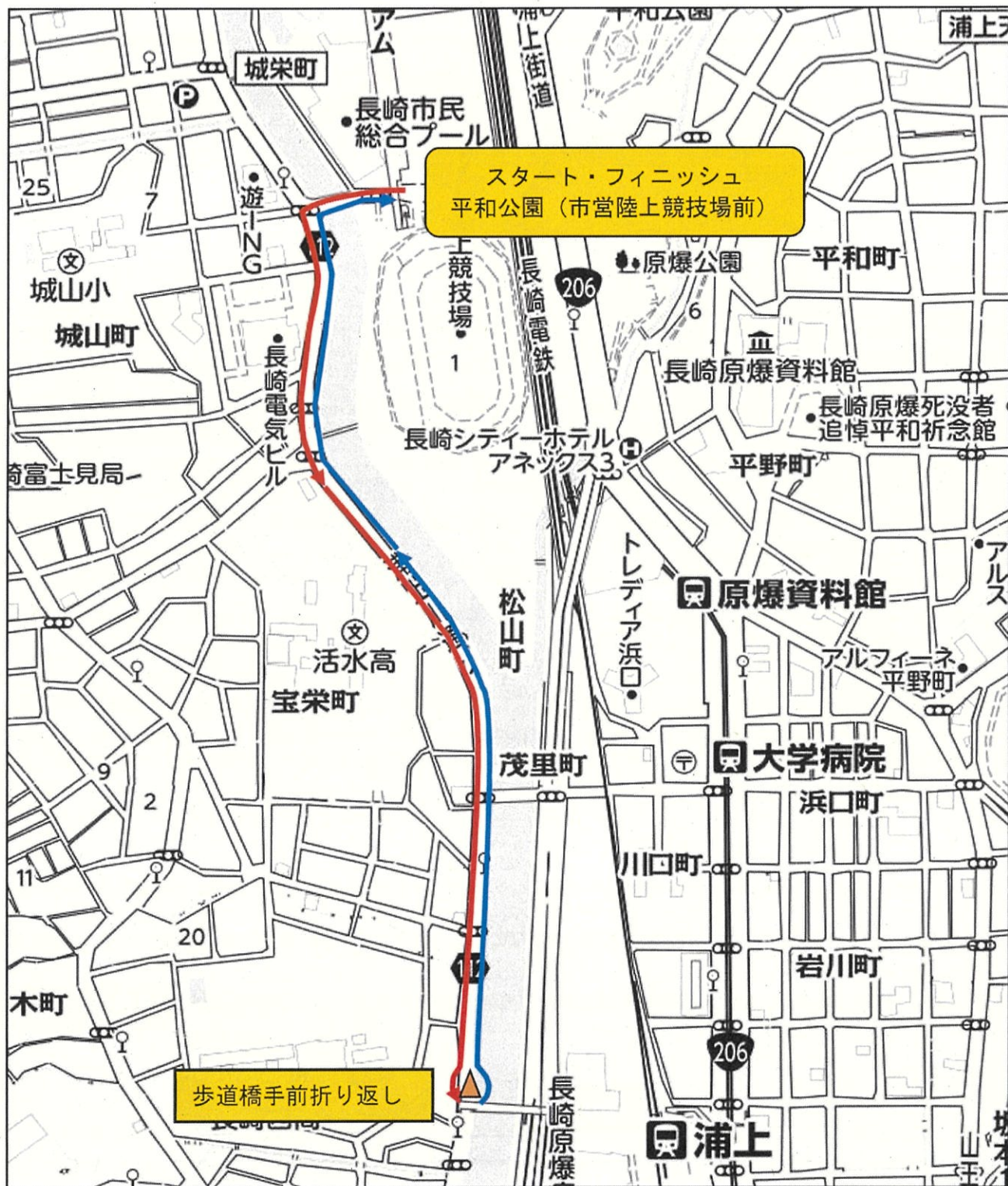


(2) ファンラン

ア コース名：チャレンジピースラン8.9 (8.9km)



イ コース名：エンジョイピースラン2020 (2,020m)



3 会場図



1 平和の発信

大会のキャッチフレーズである「Peace from Nagasaki」のもと、ランナー、参加者、市民が協力して平和を実感できる大会を目指し、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた平和のメッセージを国内外に発信する。

(1) 実施概要（案）

ア 大会開催1か月前街頭宣伝

場 所：観光通りアーケード

実施内容：大会開催の街頭宣伝を行うとともに、大会告知用の旗などに平和のメッセージを記入してもらいイベントを実施し、大会の成功に向けた気運醸成に繋げる。

時 期：2020年（令和2年）10月下旬



イ スタート時にエコロジー風船（鳩）の放天

場 所：長崎市松山町周辺

実施内容：スタートの号砲に合わせて、平和の象徴であるハト型の風船（生分解素材のもの）を放天し、ランナー及び会場の応援者へ平和のアピールを行う。



（イメージ）熊本城マラソン



長野オリンピック開会式（1998羽）

ウ 「Peace from “出身地”」ゼッケンの着用

対 象：陸連登録ランナーを除く一般ランナー、ファンラン参加者
及び長崎平和ウォーク参加者

実施内容：背面に「Peace from “出身地”」のゼッケンを着用してもらい、参加者同士の交流のきっかけを作るとともに、参加者自身にも「自分たちのまちから平和を創る」というメッセージを発信してもらうことで、ランナー自身と、それを見た応援者が平和について考えるきっかけをつくる。



「Peace from “出身地”」ゼッケンイメージ

エ 平和マラソン交流ゾーン・その他での取り組み

(ア) フォトスポットの設置

場 所：市営ラグビー・サッカー場（EXPO会場）

実施内容：フォトスポットを設置し、来場者にSNSに投稿してもらうことで、世界に広く平和のメッセージを発信する。



(イ) 長崎平和ウォーク（スタンプラリー）

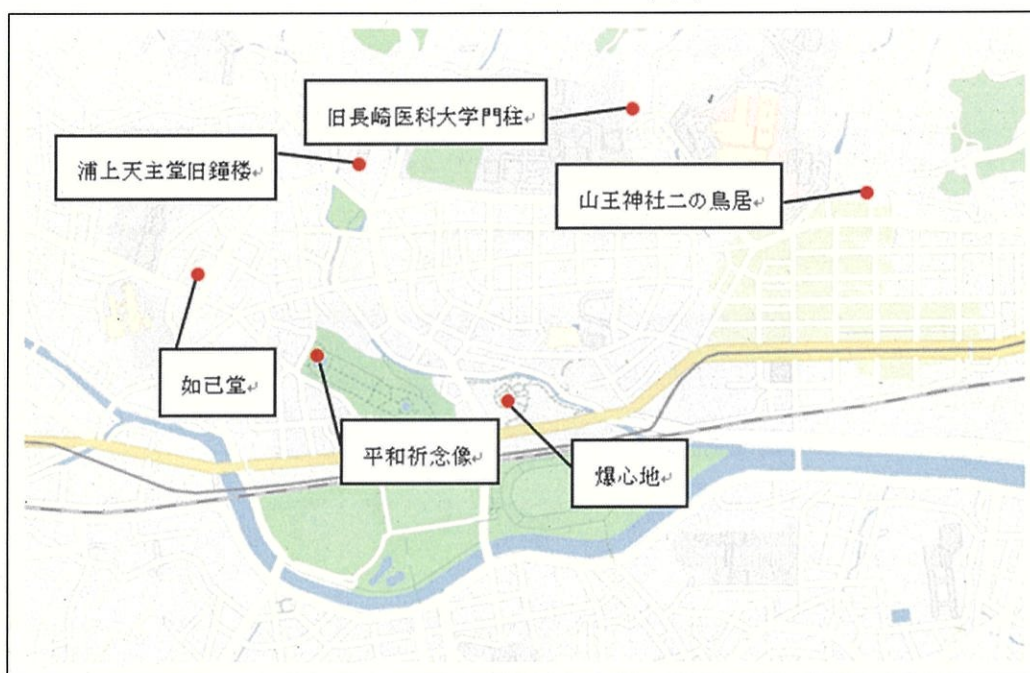
日 程：2020年（令和2年）11月28日（土）、29日（日）

場 所：長崎市松山町周辺

参加費：無料

実施内容：長崎市松山町周辺の被爆遺構を巡るスタンプラリーを実施する。
チェックポイントでは、ボランティアガイドによる説明を行う。
ゴール時に記念品交換。

チェックポイント（案）



(ウ) 平和メッセージボードの設置

日 程：2020年（令和2年）11月29日（日）

場 所：市営ラグビー・サッカー場（EXPO会場）

実施内容：来場者に平和へのメッセージを記入してもらいボードを設置し、自分自身でメッセージを書いたり、他人が書いたメッセージを見たりすることで、平和について考えてもらう。

(エ) ハタ制作スペースの設置

日 程：2020年（令和2年）11月29日（日）

場 所：市営ラグビー・サッカー場（EXPO会場）

実施内容：来場者に平和メッセージを書いたハタを作ってもらい、平和について考えてもらう。

(オ) 子供たちが作り上げる絵画の展示

日 程：2020年（令和2年）11月29日（日）

場 所：市営ラグビー・サッカー場（EXPO会場）

実施内容：子供たちが平和への思いを込めて完成させるアートを展示することで、平和のメッセージを発信する。

(カ) 市民団体によるブース出展

日 程：2020年（令和2年）11月29日（日）

場 所：市営ラグビー・サッカー場（EXPO会場）

実施内容：気軽に参加することができるような新たな平和発信の方法について市民団体に募集しブースを出展してもらうことで平和について考えてもらう。

(キ) 献花台設置

日 程：2020年（令和2年）11月29日（日）

場 所：長崎市松山町周辺

実施内容：スタート前に先着1,000人（予定）に原爆犠牲者への慰霊の献花をしてもらう。

1 広報計画

長崎市で初めてのフルマラソン大会である「長崎平和マラソン」の開催にあたっては、大会の認知度を高める必要があることから、大会名や開催日時をはじめ、大会の目的である平和の発信や、長崎の魅力などを適切なタイミングで効果的な手法を用いて発信し、広く周知・PRに努める。

また、マラソン大会は単に参加するランナーだけではなく、大会に従事するボランティアをはじめとした市民の理解と協力を得ることで開催できるものであり、特にコース沿線にお住いの市民・事業所に対して、交通規制の協力や大会の気運醸成といったきめ細かな周知活動に取り組んでいく。

(1) エリア別の周知・PR内容及び主な活用媒体

	周知・PR内容	活用媒体
市・県内	<ul style="list-style-type: none"> ①大会開催の周知・PR ②大会の気運醸成 ③ランナーの募集 ④ボランティアの募集 ⑤交通規制の周知・協力 ⑥平和・長崎の魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報媒体（広報ながさき等）などの活用 ・テレビ・ラジオ等広報媒体の活用 ・交通規制チラシ・ポスター掲出 ・イベント開催時の大会プロモーション ・平和関連事業の場でのPR
国内	<ul style="list-style-type: none"> ①大会開催の周知・PR ②大会の気運醸成 ③ランナーの募集 ⑥平和・長崎の魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭宣伝の実施 ・ランニング専門誌への募集広告 ・大会周知チラシ・ポスター掲出 ・募集パンフレット・ポスター掲出
国外	<ul style="list-style-type: none"> ①大会開催の周知・PR ③ランナーの募集 ⑥平和・長崎の魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット等の活用 ・市姉妹都市等への働きかけ

1 募集計画

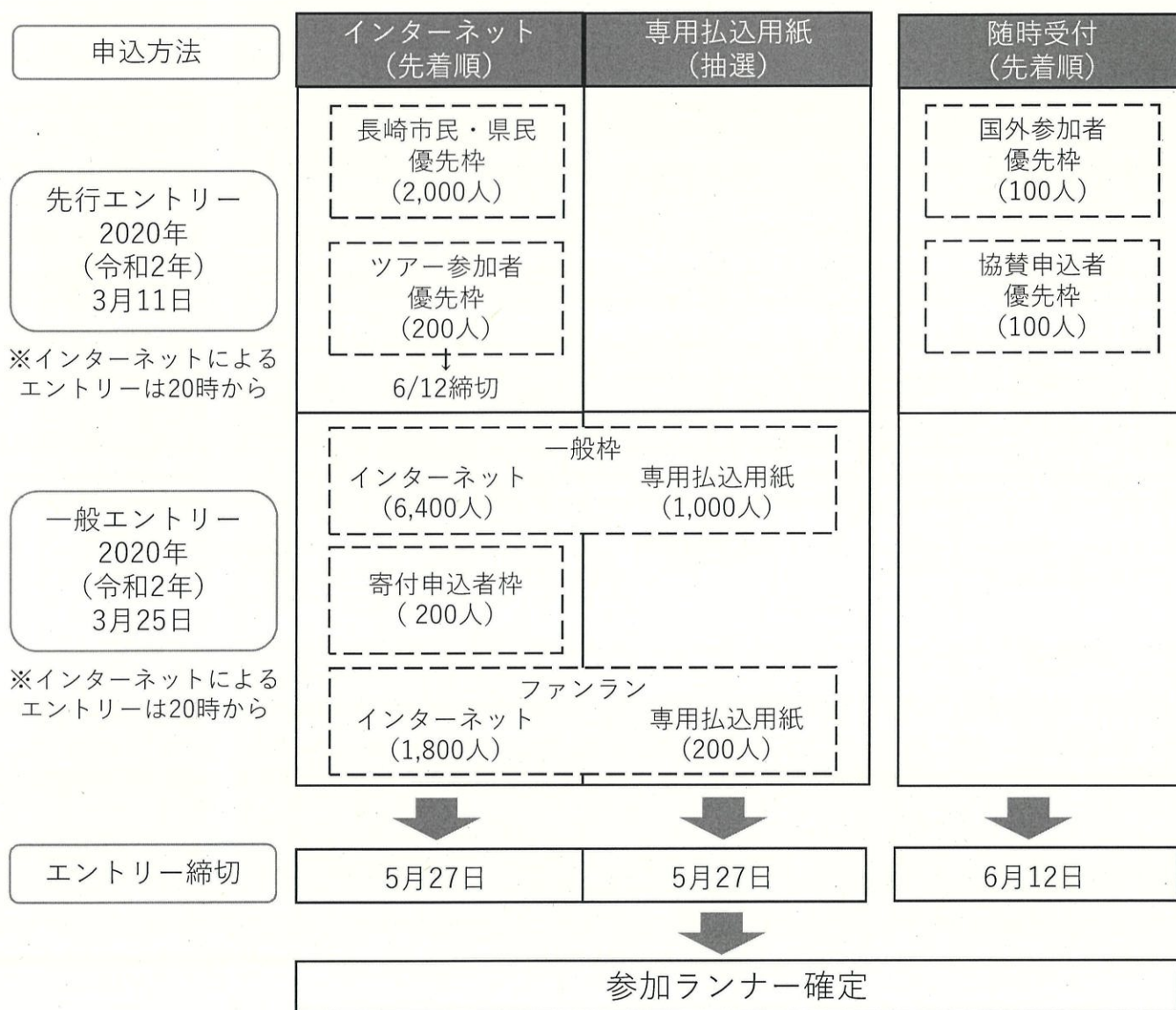
県内からの参加者を一定数確保し、長崎県全体で大会への盛り上がりを作り上げるとともに、全国各地からも多くの参加者を募集する。

また、国外からも本市の姉妹都市や旅行代理店などを通じて多くの人に参加してもらい、平和の発信や長崎の魅力発信につなげる。

(1) エントリー計画

インターネットによるエントリーを基本とし、先着順により決定する。

インターネットが使用できない参加者のために、一部、専用払込用紙によるエントリー受付を行う。専用払込用紙エントリーについては、抽選により決定する。



1 スタート・フィニッシュ地点

(1) スタート・フィニッシュ地点（長崎市営陸上競技場前）の選定理由

ア 平和の発信

平和公園内をスタート・フィニッシュ地点とすることで、ランナーや観客等に平和について感じてもらうことができる。

イ 交通規制

スタート直前までの規制区間を市道松山町線に限定することで、主要国道206号線への影響や公共交通機関による選手輸送の軽減を図ることができる。

ウ 警備・テロ対策

ランナーの待機エリアが長崎市営陸上競技場とラグビー・サッカー場、長崎県営野球場に限定することで警備範囲が定まり、その対応策を容易に行うことができる。

エ 安全対策

1万人のランナーがスタートできる道路幅と安全対策を図ることができる。

オ ランナー導線

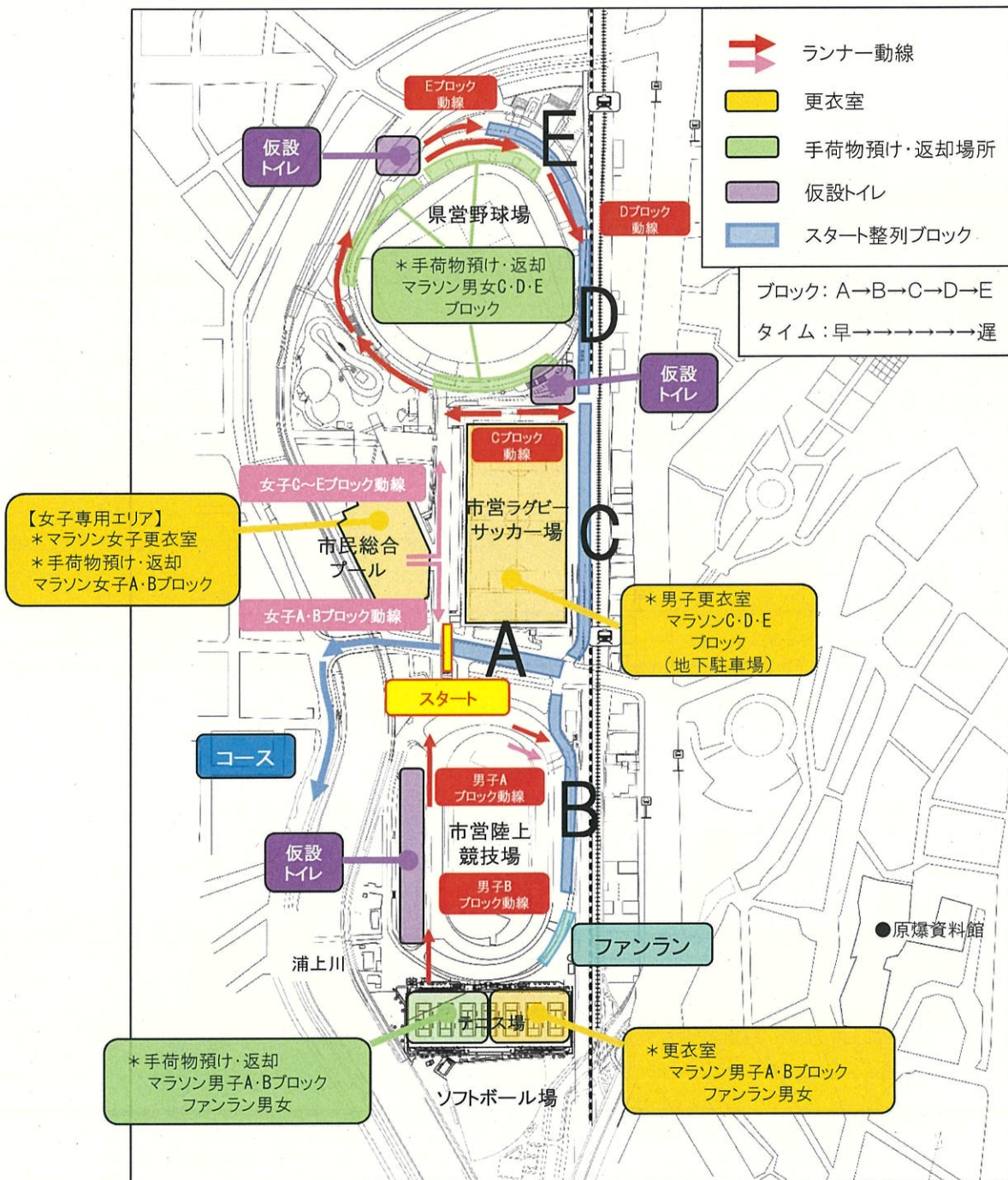
スタートの整列、フィニッシュ後のランナー導線をスムーズに行うことができる。



2 スタート計画

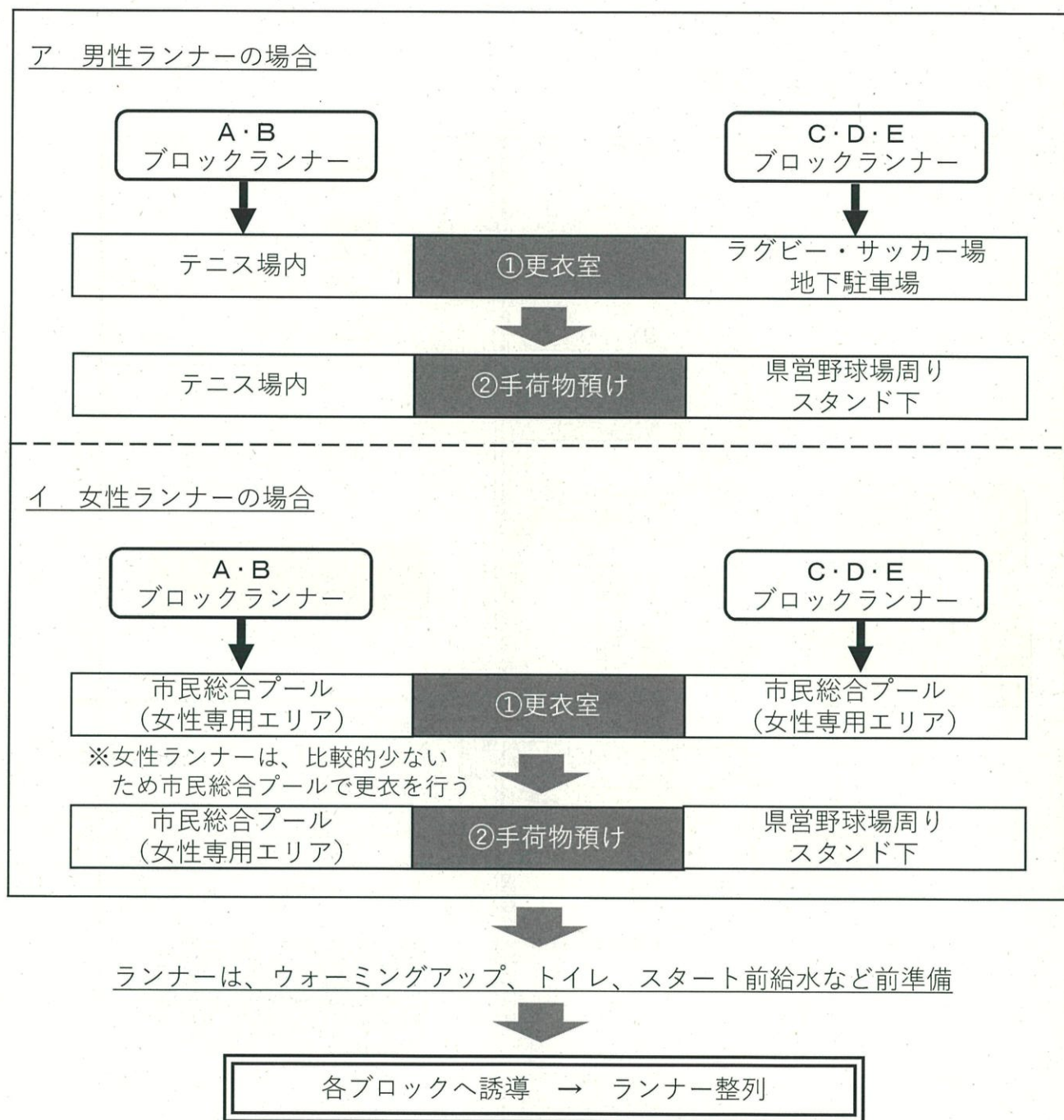
平和公園内にある市営陸上競技場やラグビー・サッカー場、市民総合プールなどの施設を有効に活用し、ランナー動線に配慮しながら更衣室や手荷物預かり、仮設トイレなど必要な施設配置を行う。

(1) スタート全体図



(2) ランナー動線 (スタートまでの流れ)

申告タイムが早いランナーから順に、A～Eまでのブロック別に振り分ける。



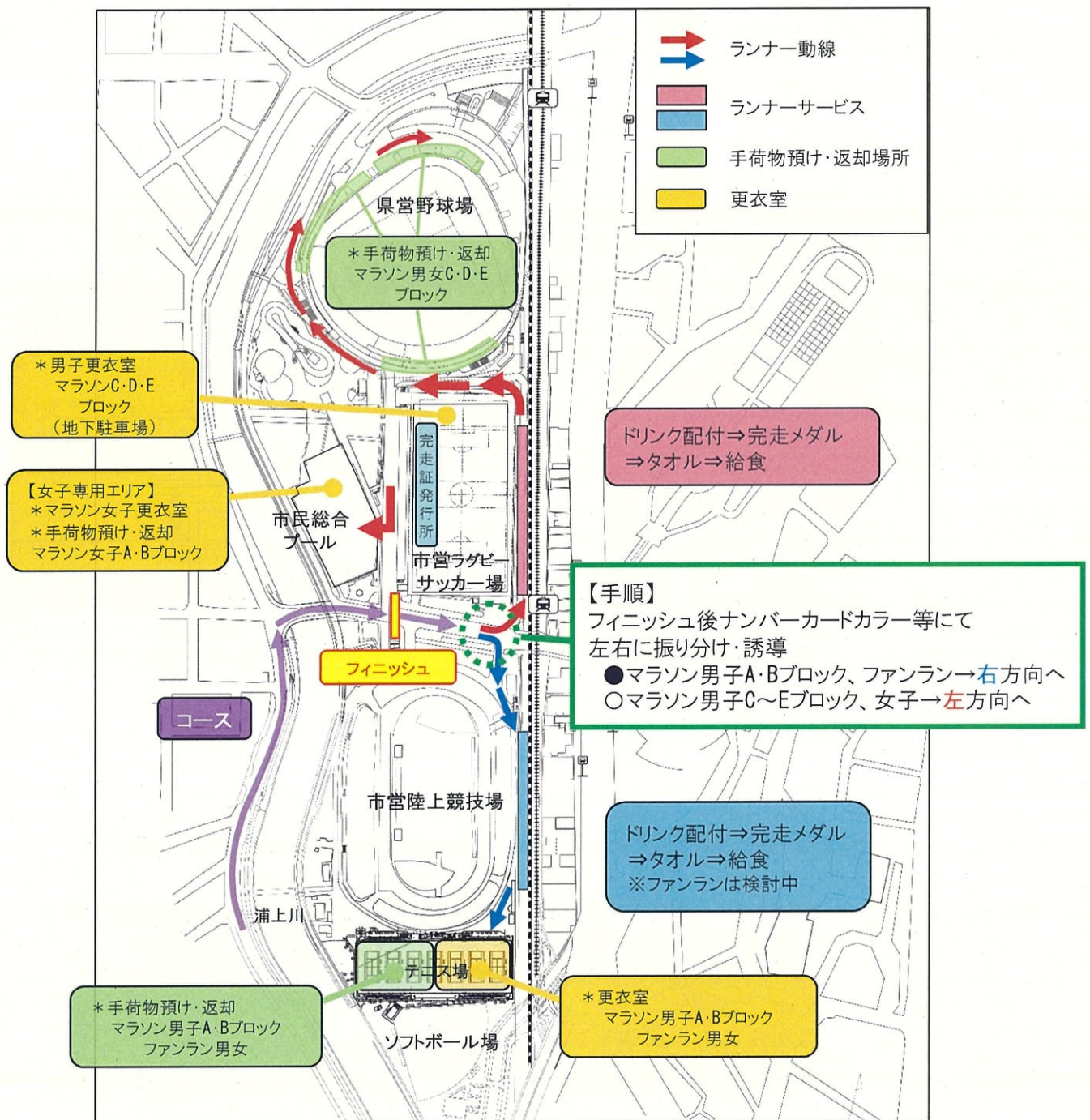
ウ ファンラン参加ランナーの場合

更衣と手荷物預けのスペースをテニス場内に準備する。

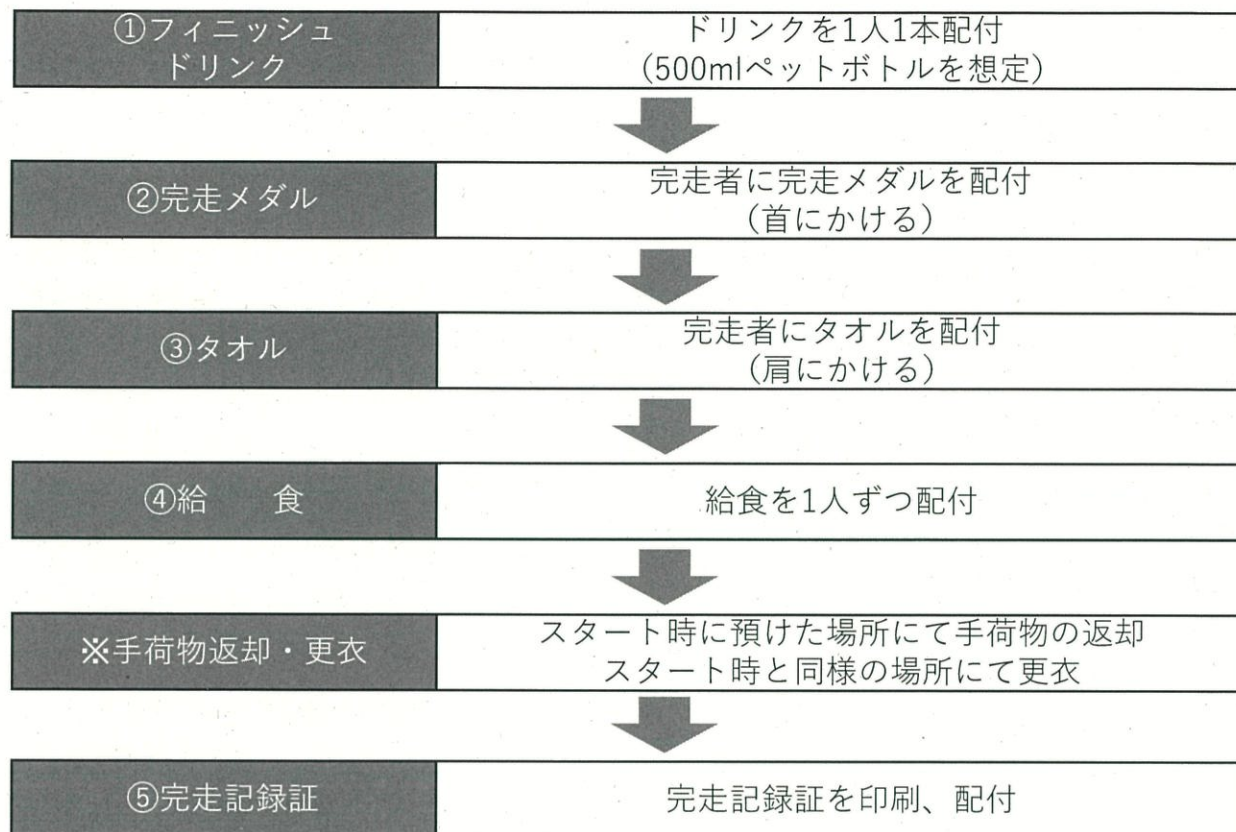
3 フィニッシュ計画

フィニッシュ後は、スタート時とは、逆の動線でランナーを誘導し、併せてドリンクや完走メダル、タオル等の配付といったランナーサービスを実施する。

(1) フィニッシュ全体図



(2) ランナーサービス（フィニッシュ後の基本的な流れ）



※ファンラン参加者へのサービスについては、検討中

4 記録計測計画

公認コースを使った公認大会として開催する計画であり、加えて折返しも7箇所と多いことから、ランナーの通過確認や現在位置予測など適切な大会運営とするために記録計測地点を設定する。

- ・14地点計測。
- ・ファンランについても、記録計測を実施予定。

5 関門・収容計画

交通への影響の最小化を目指して、主要交差点や幹線道路の速やかな交通規制の解除を考慮し関門を設定する。

- ・11地点関門設定。（フィニッシュ地点含む。）
- ・ファンランについては、関門の設定は行わない。

6 給水・給食計画

スタートから5 km以降、2.5 km間隔を基準に設置する。

なお、給食には地元のならではの食材や長崎らしい食品等の提供を検討中。

- ・15箇所の給水所を設置。（うち5箇所は給食所併設。）

7 ランナー仮設トイレ設置計画

ランナーが快適に走行できるよう、コース沿道に仮設トイレを設置する。

また、可能な限り公園等の既設トイレを活用するとともに、コース沿道の公共施設や駐車場等のスペースを利用し仮設トイレを設置する。

- ・スタート会場150基、コース沿線240基設置予定。

8 救護計画

基本的に重症者を優先して救護を行い、中等症者、軽症者については、応急処置で対応する。

(1) 救護本部の設置

救護所、AED、メディカルランナー等の救護活動の統括を行う。

(2) 救護所での処置方法

重症者を発見した場合は、迅速な対応を行いつつ、医療機関へ搬送を行う。

また、中等症者、軽症者の応急措置を行い、必要に応じて医療機関への搬送等を行う。

- ・12箇所の救護所を設置。

(3) 自転車AED隊

緊急度・重症度の高い傷病者の救護活動を行う。

- ・救命活動を3分から5分以内で対応できる体制を整える。

(4) 救急医師ランナー

コース上を走りながらランナーに最も近い場所で、緊急度・重症度の高い傷病者の救護活動を行う。

9 ボランティア計画

大会運営を支えるのに必要なボランティアについては、競技運営関係、医療・救護関係、給水・給食関係、沿道応援関係及び大会運営支援関係に区分され、競技や医療・救護関係は、専門性が求められることから関係する機関・団体を通じて、ボランティアへの参加を協力要請する。

また、コース上の給水・給食や沿道応援ステージの出演団体については、協賛企業やコース沿線の事業所、スポーツ団体、文化団体、学生等から募集を図るとともに、大会運営支援に数多く必要となる一般ボランティアも併せて市民等から幅広く募集する。

(1) ボランティアの区分と主な役割

区 分	主 な 役 割	協力依頼又は募集先	想定人数
競技運営	審判員、ランナー誘導、コース整理等	長崎陸協、市陸協等	1,200人
医療・救護	救護所での処置等	医師会、看護協会等	150人
給水・給食	ドリンクや飴・バナナ等の提供	協賛企業、沿線事業所等	990人
沿道応援	ステージでの応援パフォーマンス	文化団体や学生等	160人
大会運営支援	案内誘導、手荷物預り、記録証発行等	スポーツ団体、市民等	500人
		合 計	3,000人

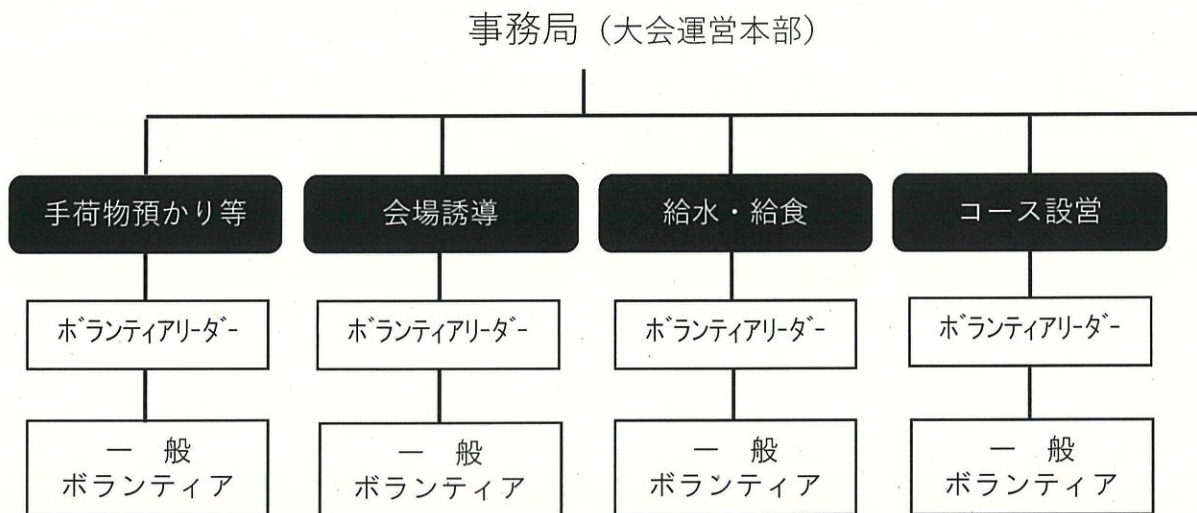
(2) ボランティアの確保

カテゴリー	定 義	募集時期等
団体ボランティア	企業・沿線事業所・学生・地元団体など十数人～数十人単位で組織し活動していただくボランティア	令和元年8月 ～令和2年5月末
個人ボランティア	一般に広く周知し、応募された個人（1人）又はグループ（2～5人程度）のボランティア	令和2年4月～5月末

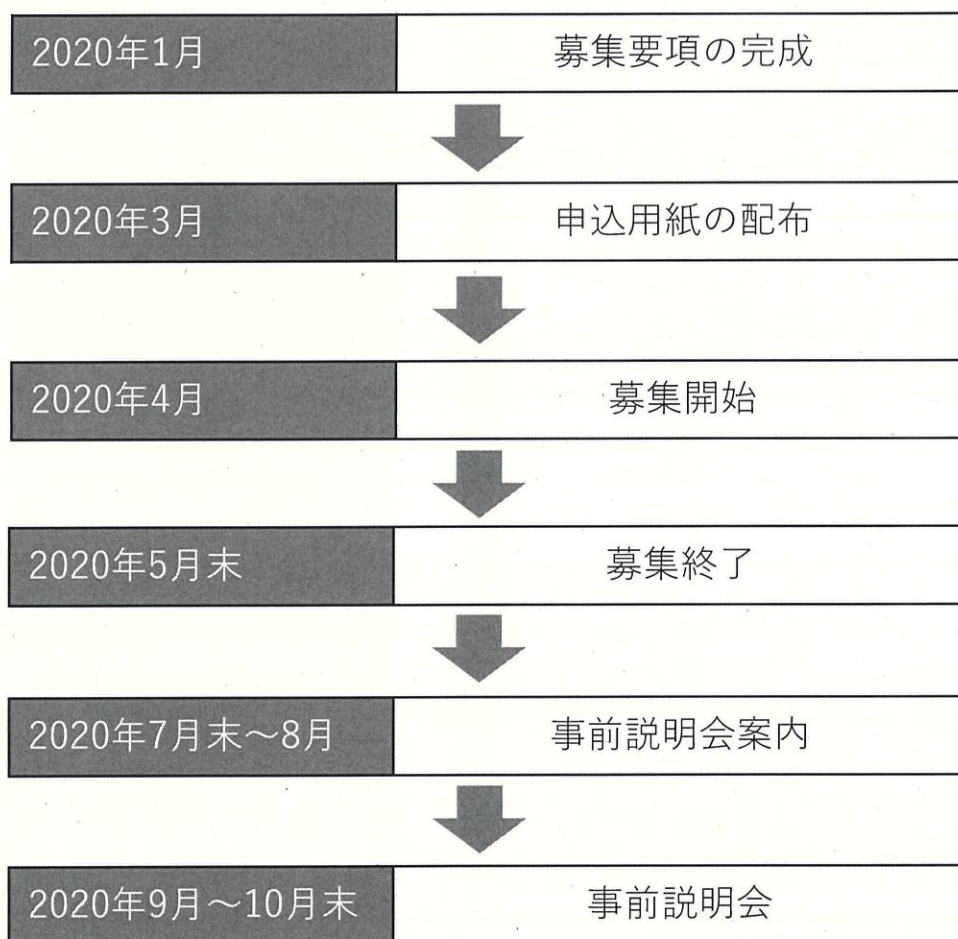
(3) ボランティアの組織体系の構築

ア 各ポイントごとにボランティアのリーダーを決定する。各ポイントのリーダーは、原則としてそのポイントに従事するボランティアの中から選出し、リーダーは、ポイントに従事するボランティアに対し従事内容を説明するとともに事務局との連絡調整を図る。

イ 組織体系のイメージ



(4) ボランティア募集の流れ



1 長崎平和マラソン交流ゾーン (EXPO)

長崎平和マラソンのスタート・フィニッシュ会場に隣接する市営ラグビー・サッカー場に交流ゾーン (EXPO) 会場を設置し、大会への参加者やその応援家族、また観光客などの来場者に対し、長崎の伝統芸能や長崎のグルメ、特産品の販売などを実施し、長崎の魅力発信とにぎわいの創出を図る。

(1) 実施概要 (案)

ア ながさき和華蘭広場

内 容：長崎平和マラソンに協賛していただいた企業・団体による出展や、オフィシャルグッズ・地元特産品の販売ブースを設置し、にぎわいを創出する。

日 時：2020年 (令和2年) 11月29日 9:00～16:00 (予定)

場 所：市営ラグビー・サッカー場・歩道橋下

来場者：参加者、応援家族、観光客など

入場料：無料

イ にぎわいステージイベント

【表彰式】

内 容：長崎平和マラソンで、男女別で1位から3位までの成績を収めたランナーに対し、ステージでの表彰式を行う。

日 時：2020年 (令和2年) 11月29日 12:45～13:00 (予定)

場 所：ラグビー・サッカー場内 にぎわいステージ

【お疲れ様イベント】

内 容：お疲れさまイベントとして、龍踊りなど長崎ならではの演出イベントを実施し、ランナーや来場者へのおもてなしを行う。

日 時：2020年 (令和2年) 11月29日 13:00～16:00 (予定)

場 所：ラグビー・サッカー場内 にぎわいステージ

ウ ケアステーションの設置 (検討中)

内 容：柔道整復師会などの協力を得て、おもてなしの一つとしてランナー向けのマッサージブースを設け、体のケアを実施する。

日 時：2020年 (令和2年) 11月29日 11:30～16:00 (予定)

場 所：市営ラグビー・サッカー場内

対 象：フルマラソン完走者

1 交通対策

円滑な大会運営及び市民生活への影響軽減を目的に、地元説明会の開催や、交通総量抑制に向けたノーマイカーデーの設定、及び各種媒体を用いた交通規制やう回路情報の周知徹底を図ることで、大会当日の交通渋滞の緩和を図る。

(1) 交通規制

交通規制予定区間	規制内容
①松山交差点～②築橋	車両全面規制
②築橋～③竹岩橋西口 (竹岩橋)	車両全面規制
③竹岩橋東口～④稲佐橋東口	松山方面車両片側規制
④稲佐橋東口～⑤県庁	松山方面車両片側規制
⑤県庁出口～⑥夢彩都	県庁方面車両片側規制
⑥夢彩都～⑦長崎県美術館	車両全面規制
⑦長崎県美術館～⑧ガスト	車両全面規制
⑧ガスト～⑨古河町交差点	松ヶ枝方面車両片側規制
⑨古河町交差点～⑩女神交差点	車両全面規制
⑩女神交差点～⑪小ヶ倉交差点	車両全面規制
⑩女神交差点～⑫木鉢IC(女神大橋)	車両全面規制
⑫木鉢IC(女神大橋)～⑬みなと坂交差点	車両全面規制
⑬みなと坂交差点～⑭ANA	神の島方面車両片側規制
⑭ANA～⑮小百合園保育所	小百合園保育所方面車両片側規制
⑮小百合園保育所～⑯神の島折り返し	車両全面規制
⑯ANA～⑰新西工場～⑱ANA	車両全面規制
⑯ANA～⑲木鉢トンネル入口	神の島方面車両片側規制
⑲木鉢トンネル入口～⑳鮎の浦公園	車両全面規制
⑲鮎の浦公園～㉑旧旭町交番	片側車線交互交通規制
㉑旧旭町交番～㉒稲佐橋西口 (稲佐橋)	車両全面規制
㉒稲佐橋西口	車両全面規制

※規制区間および規制内容は変更になる場合がある。



(2) 市民やコース沿線住民、事業者への周知

市民や企業へ幅広く交通規制の周知を行う。特に、コース沿線の住民や事業者には説明会やチラシの配布を行い、交通総量の抑制を働きかける。

- ・自治会説明会や事業者への個別訪問
- ・交通規制チラシ等の配布やマイカー自粛の依頼等
- ・周知看板の設置

(3) 交通総量抑制（ノーマイカーデーの設定）

大会当日の11月29日（日）をノーマイカーデーとし、長崎市周辺の住民や事業者へ都心部へのマイカー等の乗り入れ自粛を積極的に呼び掛け、交通総量の抑制を目指す。

(4) 緊急車両対策

コースの最後尾に緊急車両の随行走行を行うとともに、交通規制により全車線をランナーの走路として使用する区間などは、緊急時の緊急車両通行計画を作成する。

2 ランナー輸送計画

ランナーは、公共交通機関を利用して大会会場に来場することを原則とする。なお、長崎駅から大会会場（平和公園）までの路面電車を増便予定。

(1) 会場までの移動手段

- ・ J R：浦上駅下車した場合は徒歩で、長崎駅下車した場合は、バスか路面電車
- ・ バス：最寄りのバス停で乗車し、平和公園で下車
- ・ 路面電車：最寄りの電停で乗車し、平和公園で下車
- ・ タクシー：会場周辺の降車場所で下車
- ・ 自家用車：参加者の家族による送迎の際は、会場周辺の混雑回避のため、会場周辺の降車場所で下車

3 臨時駐車場

大会前日に市内に宿泊をせず、当日早朝に来場する市外・県外ランナーを対象に臨時駐車場を開場し、シャトルバスでのピストン輸送を行う。

【候補地】 柿泊総合運動公園駐車場

VIII スケジュール

1 令和元年度

西暦	2019年										2020年		
	H31年度	R年度											
和暦	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全体スケジュール	☆実行委員会R元年度 ☆実行委員会R元年度 ☆実行委員会R元年度 ☆実行委員会R元年度	☆実行委員会R元年度 第1回総会			平和祭典式典 長崎県環境若者教室 【6月30日】			国連主催週間 【10月24日-30日】	☆実行委員会開催 ☆1年前イベント ☆長崎ベイサイドマラソン	☆実行委員会開催		☆実行委員会R元年度 第2回総会	☆参加ランナー募集 開始（一般） ☆参加ランナー募集 開始（先行枠）
計画策定 支援業務委託	基本計画の策定	実施計画の策定（約7か月）							詳細計画・運営マニュアルの策定（約9か月）				
広報・周知		HP内容検討	大会広報 実施計画策定		1年前イベント企画	★平和マラソンHP 9月2日 開設（大会広報）	専門誌向け募集広告制作 ◎一般広報用パンフ配布開始 ◎年イベントによるPR ◎ベイサイドマラソンによるPR	ランナー募集パンフレット・ポスター制作	ランナー募集広報（パンフ、ポスター等）	報告発表★ ※大会1年前	報告発表★ 報告発表★	報告発表★ ※大会1年前	
エントリー			大会要綱 検討	募集方法、各種枠、募集要項 検討	ゲストランナー、特別招待者等の検討		システム調整・テスト	エントリー期間	エントリー期間				
大会運営		大会運営全体計画の策定（実施種目、雨天対策、大会要項、通信インフラ整備など）	競技詳細内容検討会	場所借上げの事前調整	コースの現状調査、道路管理者へ改善要望	会場設営計画の検討・調整（メイン会場、沿道ステージ）※貴機材も含む	駐車場計画の具体的検討	★バス輸送計画の策定（実施手法、ルートなど）	★宿泊先確保、企画商品作成等の計画策定	エントリー時の宿泊回転			
競技運営		スタート・フィニッシュ案検討	記録計測方針等検討	コース監視運営基本計画	収容詳細計画	給水基本計画	車両走行基本計画	コースロケハン	コース仮計測	コース検定申請	陸連コース距離検定	コース公認取得	日本陸連公認申請
医療・救護		救護方針基本計画					医師会等救護協力団体交渉	ランニングドクター要綱策定	救護体制の構築（医師会、看護協会、消防・救急）	医師会等救護協力団体交渉			
交通・安全対策		交通規制計画、迂回計画、誘導計画の策定（規制時間、う回路、シャトルバス、広報・周知手法）など	警備に関する警備会社等との調整	地元調整での問題点・課題への対応策検討	交通規制広報制作物 検討・査理	交通規制・迂回誘導計画	県警・各所轄と交通規制、迂回路、車両誘導等に関する協議（随時）	交通関係事業者と道路管理者との調整（長崎県、バス事業者、定期航路事業者ほか）※随時					
ボランティア							ボランティア管理計画（配置計画、研修計画、運用計画、管理体制）	ボランティア募集計画	募集チラシ等制作準備	ボランティア募集要項決定			
平和発信 （原爆被爆対策部）		平和発信事業の個別計画策定						関係団体などの調整	平和発信事業への参加団体募集、調整、準備など				
関連事業			メイン会場における関連事業の具体的検討 ※気運醸成イベントも検討	沿道応援イベントにおける関連事業の具体的検討			マラソン1年前イベント（ベイサイドマラソン）	関係団体・地元などの調整	出展要項作成	出演要項作成			
協賛営業 EXPO		スポンサー募集要項検討	大ロスポンサー候補リストアップ	大ロスポンサーセールス（随時）	EXPO会場計画			小ロス協賛セールス（随時）					

2 令和2年度

西暦	2020年												2021年		
	R2年度														
和暦	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
全体スケジュール	※団体ボランティア募集 ※運営委員会開催	★実行委員会R2年度第1回総会	※先行枠締切 ※一般枠締切		長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 [8月9日] イン21 100日前		★実行委員会R2年度第2回総会	★実行委員会R2年度第3回総会	★関係先御礼廻り	★運営委員会開催		★実行委員会R2年度第4回総会			
計画策定 支援業務委託	詳細計画・運営マニュアルの策定(約10か月)							最終調整	大会の検証等						
広報・周知	大会プログラム内容の検討	大会前広報計画策定	交通規制チラシ制作準備	大会プログラム製作	取材要綱策定	大会報告書内容検討	プレス対応	交通規制広報(各種媒体)	各種広報データまとめ作業	大会報告書編集・作成					
エントリー	エントリー期間	★報道発表 ※公認取得	★報道発表 ※エントリー終了	★全参加ランナー確定	報道発表★ ※ゲストなど	★報道要綱 プレスリリース	★報道要綱 プレスリリース	★参加案内送付							
大会運営	スタッフウェアデザイン制作	完成賞メダル製作 ●スタッフウェアデザイン発表	各種制作物発注・製作	職員実務実施	職員用マニュアル策定	●職員説明会	●スタッフ説明会								
競技運営	競技関係サイン計画	記録計測関係備品計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画	コース上備品輸送計画
医療・救護	★救護部会設置 救護協力団体交渉	★第1回救護部会	★第2回救護部会	★第3回救護部会	★第4回救護部会	★第1回医療救護合同会議	★第2回医療救護合同会議								
交通・安全対策	警備マニュアルの策定	警備準備	警備会社との調整・準備												
ボランティア	ボランティア募集計画	ボランティアマニュアル制作	ウェア制作準備	●個人・団体配置	物品振り分け	ボランティア説明会	●サンキューレター								
平和発信 (原爆被爆対策部)	平和発信事業への参加団体募集、調整、準備など														
関連事業	出展者募集	沿道応援イベント出展者公募	●スポンサー露出確認	●EXPO会場設置確定	●EXPO会場設置準備	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置								
協賛営業 EXPO	小口協賛セールス(随時)	EXPO会場割付	露出ツール制作準備	●EXPO会場設置確定	●EXPO会場設置準備	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置	●EXPO会場設置

1 大会運営費（概算）

（単位：千円）

	項目	内容	金額
1	大会告知費	大会開催PR、HP制作費、大会告知イベント開催費、ボランティア募集告知費など	21,832
2	競技運営費	コース設営、給水所運営、記録計測費、選手募集費、参加賞・完走証、ゲスト・招待選手費など	157,865
3	安全対策費	交通規制、警備、医療救護費など	41,505
4	業者コーディネート費	大会運営支援	24,960
5	事務局費	実行委員会設立準備、実行委員会運営、視察費など	21,320
	合計		267,482

※平和の発信に関する運営費は除く。

※大会運営費は、平成30年度から令和2年度までの3カ年の合計。